

社会福祉連携推進法人 光る福祉 取り組みの紹介

2024.11.6

社会福祉連携推進法人光る福祉 代表理事

内 藤 晃

社会福祉連携推進法人 光る福祉

令和4年10月13日 千葉県知事認定

- 1 法人概要と設立経緯
- 2 最近の連携推進業務

1 法人概要と設立経緯

1 法人概要

構成社員の状況（令和 6 年 11 月 1 日現在）

名 称	所在地	種別	事業所数	定員	職員数	年商
社会福祉法人開拓	千葉県八街市	介護/保育	5	211	150	7 億
社会福祉法人光明会	千葉県八街市	障害	7	254	120	7 億
株式会社グッドライフ	千葉県八千代市	障害/保育	10	176	80	7 億

令和 5 年度収益

（単位：円）

事業活動収入	会費収入	720,000	5,136,906
	業務収益	4,406,906	
	寄附金収入	10,000	
事業活動収入	人件費支出（※）	385,000	5,052,459
	事業費支出	115,000	
	事務費支出	4,552,459	
事業活動資金収支差額			84,447

※ 人件費は、事務委託料として社会福祉法人光明会に支払い

法人運営体制（令和 6 年度）

社員総会	<p>定時社員総会を令和 6 年 6 月 29 日に開催する。</p> <p>社員総会の決議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 社員資格取得の承認及び社員の除名 (2) 理事及び監事並びに社会福祉連携推進評議会の構成員の選任又は解任 (3) 理事及び監事の報酬等の額 (4) 貸借対照表及び損益計算書の承認 (5) 定款の変更 (6) 解散及び残余財産の処分 (7) 基本財産の処分又は担保に供することに係る承認 (8) 会費等の使途及び金額 (9) 社会福祉連携推進方針の変更 (10) その他社員総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項
理事会	<p>令和 6 年度は年 4 回開催する。</p> <p>第 8 回（令和 6 年 5 月 25 日） 第 9 回（令和 6 年 9 月 28 日） 第 10 回（令和 6 年 12 月 7 日） 第 11 回（令和 7 年 3 月 29 日）</p> <p>理事会の職務</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 本法人の業務執行の決定 (2) 理事の職務の執行の監督 (3) 代表理事及び業務執行理事の選定及び解職
社員資格審査会	<p>資格取得要項の作成</p> <p>入会希望者があるときは随時、予備審査（書類審査や面談等を通じて連携推進法人の運営に積極的貢献の意思の有無を確認するプロセス）を実施する。</p>
社会福祉連携推進評議会	<p>令和 6 年度は令和 7 年 2 月 1 日に開催する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ①事業計画の内容、②社会福祉連携推進評議会の定数の変更、③構成員が意見を述べる必要があるとした事項、④代表理事から求めがあった事項について、社員総会及び理事会において必要な意見を述べる。 (2) 社会福祉連携推進方針に照らし、本法人の業務の実施の状況について評価を行い、社員総会及び理事会において意見を述べる。
事務局	<p>本法人の会計および庶務を担当する。</p> <p>（社会福祉法人光明会職員に事務委託する）</p>

運営分担（令和 6 年度）

社会福祉連携推進 業務	業務分掌役員	業務執行担当
地域福祉支援業務	志村理事 粕理事 川島監事	代表理事
災害時支援業務	小澤業務執行理事 粕理事 川島監事 小倉監事	代表理事
経営支援業務	熊木理事 志村理事	熊木理事
人材確保等業務	熊木理事 林理事	小澤業務執行理事
物資等供給業務	小澤業務執行理事 林理事 小倉監事	代表理事
※その他の業務		

1 設立経緯

令和 4 年 4 月 9 日	一般社団法人設立総会、理事会（社福 2 社、株式 1 社）
令和 4 年 4 月 20 日	一般社団法人定款認証
令和 4 年 4 月 21 日	一般社団法人設立登記完了
令和 4 年 6 月 30 日	一般社団法人定時社員総会
令和 4 年 8 月 15 日	社会福祉連携推進法人認定申請書提出（千葉県）その後補正
令和 4 年 9 月 30 日	社会福祉連携推進法人認定申請
令和 4 年 10 月 13 日	社会福祉連携推進法人認定（全国 4 例目）
令和 4 年 10 月 19 日	商号変更登記完了

設立、社会福祉連携推進法人認定関連費用 272,778 円

2 最近の連携推進業務

連携推進事業	事業計画
地域福祉支援業務	<p>社会福祉法人に義務づけられた「地域における公益的な取組」（日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は定額な料金で、福祉サービスを積極的に提供しよう努めること）を効果的に遂行するために、困窮者等事業対象者のニーズ把握にかかる研究や、社員単独より共同実施の方がその効果が期待できるケースの研究等、構成社員への支援を行う。</p> <p>【R6 年度の具体的事業計画と取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八街市社協において生活困窮者自立支援事業の「学習支援」が令和 5 年度開始したが、継続してこの事業と連携して会場提供等に協力する。 <p>R6 年度の実施経緯（R6.11.30 まで）</p> <p>八街市社協 26 回 参加児童数延べ 75 人 指導者 11 人（ボランティア含む） うち分担分 26 回 参加児童数延べ 26 人 指導者 1 名（社協職員）</p> <p>また同様のスキームを八千代市での展開を追求する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社員の地域共生社会推進部門による取組事例の共有と、共同実施計画の検討 <p>【業務により現れている効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単独の法人では実績のない業務に新たに取り組むこととなった。この事業が生まれたきっかけは、連携推進法人の理事に八街市社協の役員を依頼したことによる。

連携推進事業	事業計画
災害時支援業務	<p data-bbox="584 204 2027 292">社員の事業継続力の強靱化を目指して社員が共同で行う災害時等の相互支援体制の整備等、構成社員への支援を行う。</p> <p data-bbox="584 347 1272 387">【R6 年度の具体的事業計画と取組状況】</p> <ul data-bbox="584 400 2027 699" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="584 400 969 440">・ B C P 整備体制支援 <li data-bbox="584 448 2027 592">・ 福祉避難所の機能強化に向けて検証を進める。社員間の相互支援組織「S-DWAT」（SHINE-DWAT の略、法人名称の「光る福祉」から命名）のチーム力醸成のためのメンバー交流を進める。情報指令塔を作る。 <li data-bbox="584 600 1977 639">・ 感染クラスター発生等災害時の後方支援（周辺支援）業務のケース別リスト化 <li data-bbox="584 647 1592 687">・ 「S-DWAT」の編成と行動シミュレーションの実施 <p data-bbox="584 743 1104 783">【業務により現れている効果】</p> <ul data-bbox="584 791 2027 887" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="584 791 2027 887">・ 構成社員間の職員の交流については、共同研修の企画会議等とも併せて次第に深まりつつある。

連携推進事業	事業計画
経営支援業務	<p>社員の組織マネジメント力の向上を目指して社員の事業価値、事業遂行、財務管理能力向上等を目的として構成社員への支援を行う。</p> <p>【R6 年度の具体的事業計画と取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社員の経営方針・経営計画策定にかかる情報交換と相互支援、講師によるセミナー実施、そのための構成社員の経営層での集中協議（合宿）の実施 ・構成社員の経営層による情報共有と意見調整の機会として経営研究会を2か月に1回程度開催する。必要に応じて経営合宿を開催する。 (R6/4/24、R6/6/28～29（合宿）、R6/10/1～2（合宿）R6/8/29、R6/11/19、R7/3/6) ・昨年12/25に3人で参加した「ブランドマーケター育成講座」受講後、「インナーブランディングシート」を作成、発表し合い、修正、シート完成を図った。 経営合宿においては、社員の経営改善に関する協議を実施した。 ・経営支援事業の活性化として、イベント開催時に相互に出店の機会を追求する。 (光明会のイベントにグッドライフが出店した) ・社員の事業創造部門によるHP等情報発信例の紹介と運用作業支援 ・社員のICT推進部門による助成金活用のための制度紹介と、情報共有アプリ (Line Works 等) 活用例の紹介と運用作業支援 (光明会と開拓) ・社員のコンプライアンス部門による権利擁護事業支援のためのオンブズパースンによる社員事業所訪問支援 (光明会の取り組みを今年度開拓でも展開した) ・社員の処遇改善等加算取得の申請作業支援 <p>【業務により現れている効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携推進法人として組んだからこそその関係の深まりは、経営に取り組む緊張感と安心をもたらした。

連携推進事業	事業計画
人材確保等業務	<p>社員の人財確保、育成力向上等を目的として構成社員への支援を行う。</p> <p>【R6 年度の具体的事業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉の専門技量実践研究支援とアワード付与事業の継続実施 今年度 R7/2/1 には、光明会 6 名、開拓 4 名、とグッドライフ 2 名が発表する。 前年度の発表会は録画し、各社員の職員で試聴会を行った。 ・虐待防止キャンペーンを継続して開催する。 前年度は、社員の職員から標語を募集し、優秀作品を印刷したクリアファイル 500 枚制作し各社員で活用した。 ・リーダーを対象とした「和と時の修学セミナー（国内のフィールドワーク）」を 10/2～10/4 で実施した。参加者 11 名。 ・「フィードバック研修（全 3 回）」を 2 期に分けて、令和 5 年度に続き令和 6 年度も実施する。この研修をきっかけとした発展研修を光る福祉の人材等確保業務の企画としてを進める。また令和 5 年度に参加者した管理者向けのフォローアップ研修を開催する。 第 1 期 (R6/6/29、7/20、8/24) は 16 名 (開 5、光 6、グ 5) 第 2 期 (R6/11/16、12/14、R7/1/25) は 14 名 (開 5、光 5、グ 4) ・専門職（療法士）の相互活用を進める。 グッドライフの作業療法士を開拓の児童発達支援センターへ派遣 ・社員間の人事交流／合同研修の実施および職員教育のための支援システム提供や研修講師紹介 ・あしたのチーム「ゼットイ！評価」システムの共同運用（光明会と開拓） ・社員の人材創造関連部門によるスタッフ募集・採用／教育・評価・昇進／退職体制の紹介と運用作業支援 <p>【業務により現れている効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携推進業務としては一番充実した取り組みが進められている。

主催：社会福祉連携推進法人光る福祉

～支援の質を維持、向上させよう!!～

令和6年度

フィードバック研修

○同僚・部下とのコミュニケーション不足を感じる。

○職員にもっと生き生きと働いてほしい!!

○事業所の支援の品質を向上させたい。

○事業所の一体感を高めたい!

目的・効果って? 正しい方法は?



注目される背景を知りたい

【研修内容】

- ①フィードバックに対する基本的な構造を知ることが出来る。
- ②フィードバックを通じた成長支援を学ぶことが出来る。
- ③フィードバックの基本的な構造をもとに実践を積むことが出来る。



講師

古茶宏志氏

お問合せ
申し込み先

TEL: 0

和と時の修学セミナー

R6/10/2～10/4



連携推進事業	事業計画
物資等供給業務	<p>社員の効率的かつ安定的なサプライチェーンの構築を目指し、社員の事業遂行に必要な設備の共同利用調整、物資の供給調整等を目的として構成社員への支援を行う。</p> <p>【R6 年度の具体的事業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食材、事務用消耗品、感染予防衛生用品等の共同購入 ・ 社員の取引業者等に関する信用情報等の共有 <p>【業務により現れている効果】</p> <p>現在特段の取り組みは進められていない。</p>

連携推進事業	事業計画
その他の業務	<p>社員間連携を推進するため、社員外を対象とした調査研究、出版、福祉に関する啓発・研修（研修に付随する資料等の印刷出版を含む）等を実施する。</p> <p>【R6 年度の具体的事業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小規模な社会福祉法人に対する社会福祉連携推進法人制度紹介 ・ 社会福祉連携推進法人による社員互助の諸活動実践にかかる調査の実施 ・ 本法人の活動にかかる資料のほか、業務心得ノート（『マネジメント思考編』等）の発行 <p>【業務により現れている効果】</p> <p>現在特段の取り組みは進められていない。</p>

社会福祉連携推進法人 光る福祉 取り組みの紹介

2024.11.6

社会福祉連携推進法人光る福祉 代表理事

内 藤 晃